

博物館教育論

(解答はすべて解答用紙に記入し、この問題用紙に記入しないこと)

1. 次に掲げる博物館教育関係法規類等の①～⑩の()について、下の□の中からそれぞれ最も適切な語句を選び、文を完成させなさい。解答欄にはその記号を記しなさい。
(各2点)

教育基本法(平成18年12月22日法律第120号)

第12条

2国及び地方公共団体は、図書館、(①)、(②)その他の社会教育施設の設置、(③)の施設の利用、(④)の機会及び情報の提供その他の適当な方法によって社会教育の振興に努めなければならない。

第13条

学校、家庭及び地域住民その他の関係者は、(⑤)におけるそれぞれの役割と責任を自覚するとともに、相互の(⑥)及び協力に努めるものとする。

ア運営	イ学校	ウ学習	エ教育
オ連携	カ公民館	キ博物館	ク美術館

学習指導要領(平成20年3月28日公示)

【図画工作】

(小学校)

第3 指導計画の作成と内容の取扱い

2 第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。

(5) 各学年の「B鑑賞」の(⑦)に当たっては、児童や学校の実態に応じて、地域の美術館などを(⑧)したり、連携を図ったりすること。

【美術】

(中学校)

第3 指導計画の作成と内容の取扱い

2 第2の内容の指導については、次の事項に配慮するものとする。

(2) 各学年の「B鑑賞」の(⑨)については、日本及び諸外国の児童生徒の作品、アジアの文化遺産についても取り上げるとともに、美術館・博物館等の施設や文化財などを積極的に(⑩)するようにすること。

ケ利用	コ学習	サ題材
シ指導	ス教材	セ活用

2. 次の(A)～(E)の文章のうち、それぞれ正しいものの記号1つを選びなさい。

(各2点)

(A) 博物館教育の歴史

- ア 博物館教育とは、資料の収集と保存活動を担う学芸員の専門スキルの技能を伝達する人材養成プログラムから派生した。
- イ 博物館教育は、1851年に大英博物館が所有するコレクションの一部を公開し、学校教育を支援するプログラムを実験的に運用する活動から派生した。
- ウ 近代博物館が誕生した19世紀の英国では、人々の心を育む芸術活動や社会や経済を担うコレクションや博物館への注目が高まり、コミュニティ単位で博物館が設立され、コレクションを活用した多様な学習活動が育まれた。
- エ 博物館が所蔵するコレクションを編集し、教育利用の掛図を考案し、学校教育に貢献したのは、帝室博物館館長であった森鷗外である。

(B) 教育にかかわる専門職員

- ア 1950年代のアメリカでは、博物館の教育活動に特化した専門職であるミュージアム・エドゥケーターや、博物館に博物館教育を担う専門部署とそれを担う人材を配置する動きが加速した。
- イ 日本で最初に博物館の教育活動の専門部署を設置した博物館は、玩具のコレクションが充実している国立民族学博物館である。
- ウ 博物館法では、博物館学芸員には、資料の収集と保管及び調査研究の専門性は規定されているが、展示、教育サービスなどについての規定はない。
- エ 2006年に改正された教育基本法により、博物館の教育活動を担当する専門職の配置が義務づけられた。

(C) 博物館の教育原理

- ア 「知識を言葉によって教えるのではなく、感覚器官を通じて教えなければならない」という直観教育を提唱し、その方法を確立したのは、レフ・セミョノヴィチ・ヴィゴ

ツキー(Lev Semenovich Vygotsky)である。

- イ 「子どもの教育は、学校教育が始まるずっと以前から始まっている」という事実を重視し、「発達の最近接領域」を提唱したのは、ジャン・ピアジェ (Jean Piaget) である。
- ウ 「教師が事前に準備し、設計したステップを踏んで学んでいく系統学習」に代わるアプローチとして、学習者の興味関心に応じて、自ら体験的に学んでいく「問題解決学習」を提唱したのは、ジョン・デューイ (John Dewey) である。
- エ 子どもが、それまでの「枠組み」では対処できない不均衡の状態に陥ったとき、枠組みをより高度に洗練し、対処可能な均衡の状態へと移ってゆく」ことで「発段階別の発達」を提唱したのは、ヨハン・ハインリッヒ・ペスタロッチ (Johann Heinrich Pestalozzi) である。

(D) 博物館の教育デザイン

- ア 展示物やコレクションと利用者自身が抱えている問題を相互作用させるためには、ハンズオン展示は有効である。
- イ ミュージアムで社会参加を促すチカラを育むために、バリアフリーな空間デザインが必要である。
- ウ 利用者が博物館に入館してから退館するまで育まれた感動と知的な満足を考慮すると、レストランやミュージアムショップは、教育デザインの対象となる。
- エ 自然史コレクションに精通したリピーターにとって、展示解説者の笑顔やもてなしは知的好奇心を育む重要な要素となる。

(E) 教育評価の方法

- ア 利用者の行動を追跡し、利用者の興味関心や展示などの理解を明らかにしようとする調査を観察調査という。
- イ 博物館体験をした利用者へのインタビューにより、利用者の知的関心の変化や深化を明らかにしようとする調査をマーケティングという。
- ウ 展示や講座に参加した利用者の理解度を測定するために「理解テスト」を導入する方法を面接調査という。
- エ 博物館の教育活動を専門的視点から分析評価するための専門人材をインタープリターという。

3. 下記の文を読み、正しいものに○、正しくないものに×を記入しなさい。

(各2点)

- (1) 中学校の博物館利用としては、キャリア教育の一環として、インターンシップによる体験活動が増えてきている。

- (2) 文部科学省から出されたリーフレット「これからの博物館」の1.広がる博物館活動において、戦後の博物館はボランティア等の協力を得た地域ぐるみの博物館活動が広がっていると記している。
- (3) 明治5年に第1回の内国勸業博覧会を構想し、国立科学博物館の館長に就任した田中芳男は、全国の地域資源を収集し、それを殖産興業に発展させるための人材養成の仕組みとして、全国各地で共進会と農談会を開催することを促した。
- (4) 生涯学習社会における博物館は、利用者の生涯価値という視点から利用者像を設定することが求められている。近年、利用者の生涯価値を計測するためにミュージアムロイヤルティという分析手法が用いられている。
- (5) 登録博物館には、ボランティアを導入するにあたって、参加者のスキルと資質の向上をめざす教育研修プログラムを事前に策定することが義務づけられている。

4. 学校の博物館利用が進まない理由を示し、博物館利用を促進するためには、学校に対してどのような手立てを行うことが望ましいか、実際に取り組んでいる博物館を事例にして自分の考えを400字以内で述べなさい。(30点)

5. 生涯学習の進展に伴い、博物館に、①倫理的な目的を与え、②利用者を魅了し、集客効果をもたらし、③芸術、レジャー、教育、旅行、商業的ネットワークを結ぶ役割をもたらすものとして高い期待がよせられるようになっている。そして、「教育をあらゆる活動の存在意義」とすることで、博物館経営を革新する動きが社会的な潮流となり、収蔵品、展示、サービスといった個々の要素を、教育という視点から再編集する経営革新が展開されはじめている。以上のような視点で実践されている内外の博物館活動にかかわる事例を1つ取り上げ、その活動についての今日的な意味と将来の可能性について400字以内で述べなさい。(30点)